エコアクション 21

環境経営レポート

令和5年6月~令和6年5月



令和 6 年 8 月 20 日 株式会社 イマムラ





目次

- 1. 事業概要
- 2. 環境経営方針
- 3. 環境経営目標
- 4. 環境経営計画
- 5. 実施体制
- 6. 環境経営目標の実績
- 7. 環境経営計画の取組内容・結果とその評価、次年度の取組内容
- 8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、 訴訟等の有無
- 9. 代表者による全体評価と、見直し・指示

1. 事業概要

1. 事業所名 代表者氏名

株式会社 イマムラ

代表取締役社長 小栁 敏幸

2. 所在地

(本社) 〒841-0037

佐賀県鳥栖市本町2丁目1442−3

3. 資本金

1,500万円

4. 設立

昭和59年11月

株式会社設立:平成5年6月

5. 環境管理責任者 担当者 連絡先 小栁 敏幸

松尾 秀嵩

電 話 0942-85-1188

F A X 0942-83-3658

Eメール imamura 1@guitar.ocn.ne.jp

6. 事業内容

佐賀県知事(般-3)第7913号

建築工事業 大工工事業 左官工事業 石工事業 屋根工事業 タイル・れんが・ブロック工事業 板金工事業 ガラス工事業 塗装工事業 防水工事業 内装仕上工事業 建具工事業 とび・土工工事業 解体工事業

7. 事業規模

	工事件数(件)	売上高(百万円)	従業員 (人)	事務所床面積(m²)	倉庫床面積(m²)
平成28年度	1, 203	1,004	19	344. 9	146. 3
平成29年度	1, 186	1, 038	19	344. 9	146. 3
平成30年度	1, 114	980	19	344. 9	146. 3
令和1年度	1, 065	915	19	344. 9	146. 3
令和2年度	1,093	991	19	344. 9	146. 3
令和3年度	1, 137	991	19	344. 9	146. 3
令和4年度	943	1, 420	18	344. 9	146. 3
令和5年度	914	1, 323	21	344. 9	629. 9

8. 事業年度

6月1日~翌年5月31日

9. 対象範囲

全組織 • 全活動

①对象事業所…本社、駐車場

②事業活動……建築工事業 大工工事業 左官工事業 石工事業 屋根工事業 タイル・れんが工事業 板金工事業 ガラス工事業 塗装工事業 防水工事業 内装仕上工事業 建具工事業 とび・土工工事業

2.環境経営方針

≪基本理念≫

私たちは信用と創造と感謝を基に

- 1. 事業を通じて地域社会への貢献
- 1. 世のため、人のための企業経営
- 1.『利他即利自』 を通して "豊かな住環境の創造"を目指します

≪基本理念≫

私たち株式会社イマムラは地球温暖化をはじめ様々な地球環境を守るため、 事業活動において地球環境の保全を重要課題とし、自然環境への負荷の軽減 に取り組みエコアクション 21 を構築運用し、「環境にやさしい社会づくり」 に貢献します。

≪活動方針≫

- ①環境に関する法規制及びその他の要求事項を順守します。
- ②電力、燃料の消費削減に努め二酸化炭素排出量の削減します。
- ③水使用量の削減します。
- ④限りある資源の活用のため、廃棄物削減と分別による再生利用をします。
- ⑤化学物質を指定された場所に保管し管理します。
- ⑥グリーン商品の推進を図ります。
- ⑦建設工事では、環境に配慮します。
- ⑧地域社会貢献活動及び環境ボランティアに積極的に参加します。
- ⑨環境経営の継続的改善を誓約します。

以上の目標に取り組み事業の発展と地域社会の発展を通じ社員の幸せ実現 を目指します。

制定日: 平成 25 年 10 月 1 日

改定日:令和5年6月1日

株式会社 イマムラ

代表取締役 小栁 敏幸

3. 環境経営目標

	ann take on the	W II.	該当	実績値 (基準年)	 	目	標		
	環境目標	単位	事務所	H28年度 H28.6~H29.5	R2年度 R2.6~ R3.5	R3年度 R3.6~ R4.5	R4年度 R4.6~ R5.5	R5年度 R5.6~ R6.5	
	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂		99, 317	92, 384	91, 460	90, 545	89, 640	
	の削減	Kg CO2	事務所	99, 51 <i>1</i>	1%	2%	3%	4%	
1	①電気使用量の削減	kwh		42, 747	42, 320	41, 897	41, 478	41, 063	
					1%	2%	3%	4%	
	②ガソリンの使用量削減	L		31, 305	30, 992	30, 682	30, 375	30, 071	
				,	1%	2%	3%	4%	
	一般廃棄物排出量	t	事務所	9	8.9	8.8	8. 7	8. 6	
2	の削減	Ü	平 4カバ] 	1%	2%	3%	4%	
	産業廃棄物再資源率の向上	%	現場	100%	100%	100%	100%	100%	
			事務所		205	203	201	199	
3	水使用量の削減	m ³		207 	1%	2%	3%	4%	
4	PRTR化学物質の 使用量把握と適正使用管理	管理	現場	_		・ 使用量把握と	と適正使用管理		
5	グリーン商品の購入	品目数	事務所	19	21	22	23	24	
6	環境配慮型工法や施工を 実施する	件数	現場	_	12	13	14	15	
7	地域貢献活動の取り組み	回数	事務所	_	事務所周辺の清掃の毎朝望 (稼働日の雨天日以外は実施				

[※]電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力の2023年度調整後排出係数0.406kg-CO₂/kWhを使用した。

4. 環境経営計画

1. 二酸化炭素排出量削減のための取組 責任者:総務部

①電気使用量の削減

- ・ 節電シールの貼り付け(担当:総務部)
- 空調温度設定(冷房28℃、暖房1階23℃・2階22℃に設定) (担当:総務部)
- 休憩時、外出時はPCを消す(担当:総務部)
- 空調機の月一回のフィルター清掃(担当:総務部)

②ガソリンの使用量の削減

- エコドライブ10の推進(担当:総務部)
- 走行距離と供給燃料を記録する(担当:総務部)

2. 廃棄物排出量削減のための取組 責任者:総務部

- 活用できる限りの裏紙の利用と印刷の徹底(担当:総務部)
- ・ 会議資料はメール、プロジェクターを使用する(担当:総務部)
- 廃棄物の分別徹底(担当:総務部)
- ・ トナーカートリッジ回収にてリサイクルの推進(担当:総務部)
- 余剰資材の活用(担当:工事部、直受部)
- ・ 資材は、適正に発注する(担当:工事部、直受部)
- ・ 発生したごみは可能な限り、圧縮を行い、減量する(担当:総務部)

3. 水使用量削減のための取組 責任者:総務部

- ・ 出しっぱなしにしないようにこまめに蛇口を閉める(担当:総務部)
- ・ 節水の表示(担当:総務部)

4. 化学物質使用量の適正管理 責任者:工事部

- 毎朝倉庫内の指定された場所に保管してあるか確認を行う(担当:工事部)
- ・ 使用量の把握を行う(担当:工事部)

5. グリーン購入の推進 責任者:工事部、直受部、総務部

- ・グリーン商品を積極的に購入する(担当:総務部)
- ・建設資機材のグリーン購入(担当:工事部、直受部)

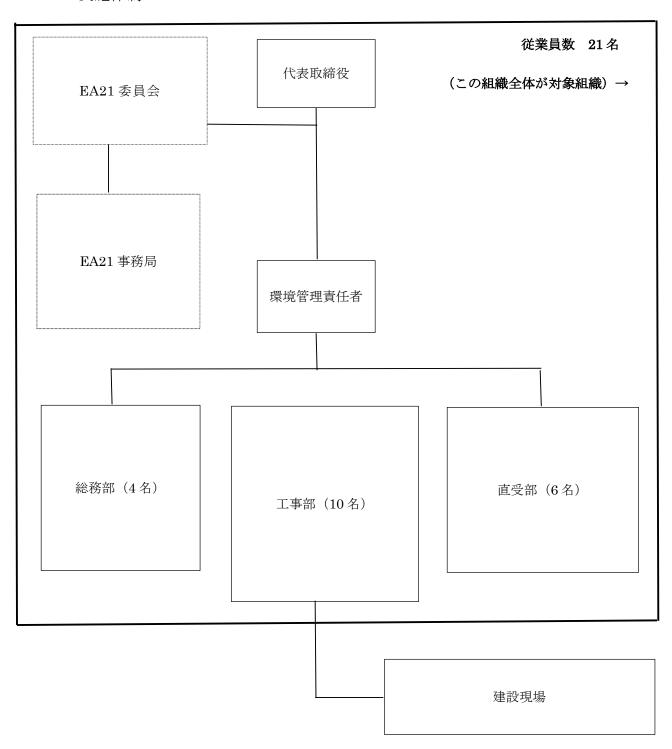
6. 環境に配慮した工事 責任者:直受部

- 粉塵、悪臭、騒音に配慮した仮設計画を立案する(担当:直受部)
- ・ 環境配慮型工法や施工を実施する(担当:直受部)

7. 地域貢献活動の取組 責任者:総務部

・ 毎朝事務所周辺のゴミ掃除の実施(担当:総務部)

EA21 実施体制



5. 環境経営目標の実績

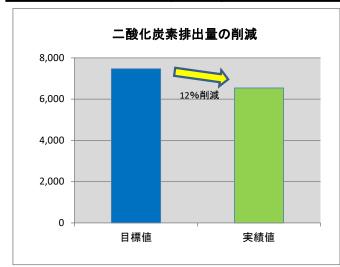
※電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力の2023年度調整後排出係数0.406kg-CO₂/kWhを使用した。

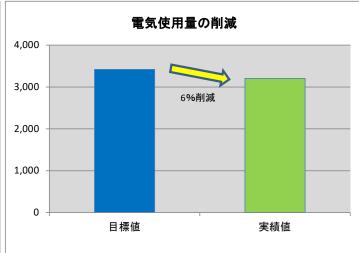
※達成率は、(目標値-実績値)/目標値+1に100を掛けて算出した。

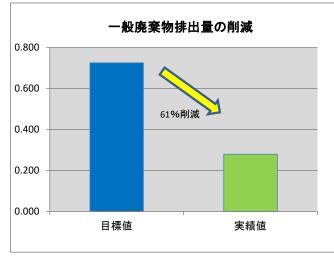
※令和5年度売上高1,323万円

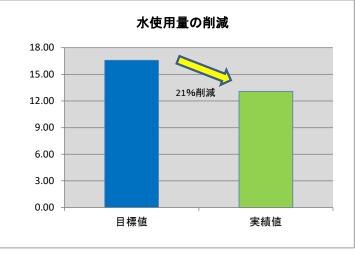
※評価基準…【○ 目標達成率が100%以上】【△ 目標達成率が99%以上100%未満】【× 目標達成率が99%未満】

	環境目標	単位	該当	R5 [⊈]			R5年度	:	
	垛塊口保	半世	事務所	目標	月間目標	年間実績	月間実績	達成率	評価
	二酸化炭素排出量 の削減	kg-C02		89, 640	7, 470	78, 517	6, 543	114%	0
1	①電気使用量の削減	kWh	事務所	41,063	3, 422	38, 466	3, 206	107%	0
	②ガソリン使用量の削減	L	3. 323721	30, 071	2, 506	27, 112	2, 259	111%	0
	■ スプラマ 区川重い 門域	L/百万円		22. 7	22. 7	20. 5	20. 5	111%	0
2	一般廃棄物排出量 の削減	t	事務所	8.6	0.716	3. 4	0. 28	253%	0
2	産業廃棄物再資源率 の向上	%	現場	100%	-	100%	100%	100%	0
3	水使用量の削減	m^3	事務所	199	16. 58	157	13. 08	127%	0
4	PRTR化学物質の使用量 把握と適正使用管理	管理	現場	確認する	確認する	今年度は使用実績はないが在庫品の適正管理 に努めている	今年度は使用実績はないが在庫品の適正管理 に努めている	ı	0
5	グリーン商品の購入	品目数	事務所	24	24	24	24	100%	0
6	環境配慮型工法や施工を 実施する	件数	現場	15	15	15	15	100%	0
7	地域貢献活動 の取り組み	日数	事務所	稼働日の雨天 日以外は実施 する	=	0	0	100%	0









6. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

- ・令和5年度の環境活動計画の実施状況は以下の通りです。目標数値を見直し数値目標を再設定してから、 すべての項目が実施でき、概ね良好な結果となっています。
- ・今後もこの取り組みを継続・発展させ、環境方針にそって目標達成を目指していきます。

1. 二酸化炭素排出量の削減



活動項目	活動項目 該当 達成 状況		達成手段	実施 状況	評価と今後の取組
①電気使用量の削減	事務所		1. 空調温度設定(冷房28℃、暖房1階 23℃・2階22℃に設定する。 2. 休憩時、外出時はPCを消す。	0	削減目標はともに達成した。 倉庫・事務所の拡大、また 今後も人員の増加が見込まれる
②ガソリン使用量の 削減	事務所	0	1. エコドライブ10の推進 2. 走行距離と供給燃料を記録する。	0	ため、全員が目標を念頭に それぞれ電気の使用量、ガソリン の使用量の削減を徹底していく。



車両班

メンバー 21



旧ハイエースです。

既読 19 > 20:20







既読 19 »

保存|フォルダに保存

新八イエースです。 ^{既読 19 >} 20:21

2025年3月15日土曜日

各社用車の担当者は毎週整理整頓し LINEWORKSで共有し、無駄な積載が無いことを 報告している。毎週、車両確認班はその状況等 を確認し朝礼で指摘等、行いエコの推進につな げている。

2. 一般廃棄物排出量の削減・産業廃棄物再資源率の向上



活動項目	該当	達成 状況	達成手段	実施 状況	評価と今後の取組
一般廃棄物排出量の削 減	事務所	0	1. 活用できる限りの裏紙の利用と印刷 を徹底。 2. 会議資料はメール・プロジェクター を使用する。	0	削減目標はともに達成した。 メンバーの入れ替わりもあったが声か けは以前よりも増え、分別の徹底も引 き続き出来ている。
産業廃棄物再資源率の 向上	現場	0	1. 廃棄物の分別徹底 2. 発生したごみは可能な限り、圧縮を 行い、減量する。	0	コンテナの場所が近隣の住宅近くに移動し目につきやすいため、 飛散防止などはより心がけて徹底する。



産廃,身の回り班

メンバー 21

保存|フォルダに保存





2025年3月21日金曜日

日常、産廃状況の確認はしているが、 毎週、 産廃担当班が産廃置場の状況を確認し分別 や適性に廃棄されているかの確認を行い、 LINEWORKSにて皆に報告や指摘を実施して いる。

6. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

3. 水使用量削減のための取組



活動項目	該当	達成 状況	達成手段	実施 状況	評価と今後の取組
水使用量の削減	事務所		1. 出しっぱなしにしないようにこまめ に蛇口を閉める 2. 節水の表示		削減目標は達成した。 駐車場の拡大、倉庫の新設などもあり 使用量の増加も考えられる為、引き続き節水については社員、またグループ 会社の社員に対しても周知徹底してい く。

	車両点	点検表			2025年3月3道	目									
0	管理者	車検時期	走行距離 (前週)	走行距離 (今週)	オイル交換距離 (+ 5,000 km)	オイル交換までOkm (赤字は要交換)	育合整理	便の管理 (車内放置×)	ほこり ・汚れ	フロント 不要な物	(ビス等)	オイル	洗車	タイヤ溝	指摘車項再チェック
1		H38.9.2	14,198	14,674	15,367	1,169								$\overline{}$	
2		H37.7.4	224.030	224.571	226,619	2,589				社用車 車両5S、					
		H38.7.16	20,638	21,561	24,740	4,102			. — .	を行う				_	
0000	Socialis	H38.3.11	55,438	56,075	60,438	5,000			少な	く出来で	ている。				
	軽トラック	H37.2.28	22,712	23,402	23.900	1,188									
7		1			+			-			10				

4. 化学物質使用量の適正管理





活動項目	該当	達成 状況	達成手段	実施 状況	評価と今後の取組
PRTR化学物質の使用量 把握と適正使用管理	現場	0	1. 指定された場所に保管し、管理 する 2. 使用量の把握	0	目標を達成した。 倉庫の新設により、材料の置き場 が広がった事でより管理・把握がやり やすくなった。引き続き倉庫班は徹底 して行う。

5. グリーン購入の推進





活動項目	該当	達成 状況	達成手段	実施 状況	評価と今後の取組
グリーン商品の購入	事務所	0	1. グリーン商品を積極的に購入する	0	目標を達成した。 メーカーを呼んでの勉強会も引き続き 行い、現場でも商材の提案が出来るよ うに社員全体が理解する。



添付、一例。 使用頻度の高いコピー用紙、ファイルはFSC商品やグリーン商品を購入。

6. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

6. 環境に配慮した工事



活動項目	該当	達成 状況	達成手段	実施 状況	評価と今後の取組
環境に配慮した施工を 実施する	現場	0	1. 粉塵・悪臭・騒音に配慮した仮設計 画を立案する 2. 環境配慮型工法や施工を実施する	0	目標を達成した。 SNSによる施工写真の配信率を上げる 事は徹底して行った。 LINE Worksの活用により、部内の現場 状況の共有が写真などで、リアルタイ ムに行うことが出来ている。

【 具体的実施現場 】

- 外部に遮熱性塗装の塗布
- ・節水型の便器へと交換した
- 照明器具をLEDにした
- ·ペアガラスのサッシへと交換した
- ・窓に遮熱性、遮音性の物を使用した ・天井に断熱材を使用し熱効率を上げた
- ・遮熱性のあるロールスクリーンへ交換した
- ・近隣対策(事前の告知・騒音・匂い)
- ・センサー照明を取り付けた ・壁、床面に断熱材を使用し熱効率を上げた
- ・内壁に珪藻土等、塗り壁を施した塗布
- ・カーテンを遮熱性のあるものにかえた
- ・保温性の高い浴槽(魔法びん浴槽)を採用した
- ・外壁塗装に、遮熱性の高い塗料を選定し施工
- ・天井に断熱材を設置し、室内の断熱性能を 向上させた

【施工中】





7. 地域貢献活動の取組

•	7.962 (10 (11 199) PO(177					
	活動項目	該当	達成 状況	達成手段	実施 状況	評価と今後の取組
	地域貢献活動の 取り組み	現場	0	1. 事務所周辺のゴミ掃除の実施	0	毎朝事務所周辺のゴミ掃除の実施を徹 底できた。今後も継続して取り組みに 努める。

3. 環境経営目標

		2441	該当		 	目	標	
	環境目標	単位	事務所	基準値	R6年度 R6.6~ R7.5	R7年度 R7.6~ R8.5	R8年度 R8.6~ R9.5	R9年度 R9.6~ R10.5
	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂		102, 582	l 102,069 l	101,556	100,530	99,505
	の削減	Ng 002		102, 002	0.5%	1%	2%	3%
1	①電気使用量の削減	kwh	事務所	50, 256	50,005	49,753	49,251	48,748
			į		0.5%	1%	2%	3%
	②ガソリンの使用量削減	L		35, 421	35,244	35,067	34,713	35,358
					0.5%	1%	2%	3%
	 一般廃棄物排出量	t	事務所	4.5	4.48	4.45	4.42	4.37
2	の削減		平4万 //	4.0	0.5%	1%	2%	3%
	産業廃棄物再資源率の向上	%	現場	100%	100%	100%	100%	100%
		2	事務所		204	203	201	199
3	水使用量の削減	m ³		205	0.5%	1%	2%	3%
4	PRTR化学物質の 使用量把握と適正使用管理	管理	現場	_	, 	使用量把握と	適正使用管理	
5	グリーン商品の購入	品目数	事務所	24	 	26	27	28
6	環境配慮型工法や施工を 実施する	件数	現場	_	 	17	18	19
7	地域貢献活動の取り組み	回数	事務所	_	 事務所周辺の清掃の毎朝実 (稼働日の雨天日以外は実施			i. 3)

[※]電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力の2023年度調整後排出係数0.406kg-CO₂/kWhを使用した。 ※基準値は令和5年の実績値及び事務所が増設した分と、今後の事業計画に基づいて算出した。

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 当社に適用される法規制等

環境関連法規	適用内容、規制基準等	遵守状況
廃棄物処理法 (事業系一般廃棄物)	許可業者への委託、指定場所への処分等	遵守
廃棄物処理法 (産業廃棄物)	収集運搬の車体への明示、マニフェストの管理	保管基準の 遵守
廃棄物処理法 (雑則)	廃棄物の投棄や焼却の禁止	遵守
建設リサイクル法	分別解体の励行と再資源化	遵守
騒音規制法	指定建設作業の実施の届出等	今回は該当無
振動規制法	指定建設作業の実施の届出等	今回は該当無
フロン排出抑制法	フロン類の排出の抑制、引き渡し業務	簡易点検実施
自動車リサイクル法	自動車の長期使用、 再資源化に配慮した自動車の選択	遵守
家電リサイクル法	再商品化の協力	今回は該当無
小型家電リサイクル法	排出する際の分別と引き渡し業務	遵守
建築基準法	石綿含有資材、及びその他の著しく有害な物質の 使用禁止とシックハウスに関する規制	遵守
石綿則	石綿等の切断等の作業に係る措置、 石綿作業主任者の選任、掃除の実施	今回は該当無
有機溶剤中毒予防規則	作業主任者の選任、掲示の措置 設置、保管の管理	遵守

(2) 違反、訴訟等の有無

- ・当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
- ・関係関連からの違反、及び利害関係者からの訴訟や苦情も過去3年間特にありませんでした。

8. 代表者による全体の評価と見直し・指示

評価	環境への取組の 実施状況	今まで通りに廃棄物は紙・鉄・壁紙(クロス)に分別しています。 週2日産廃状況を確認しており又週末は写真を社内SNSで共有し毎 週月曜日朝礼時に発表を行っております。又車両も週末全社員が写 真を社内SNSで共有し荷物が載っていないか、車両の整理整頓が できているか月曜日発表をしております。
	環境経営システムは 有効に機能 しているか	昨年同様5S活動を社員皆が理解し実践を行っています。週一の報告で是正もかなり減ってきたと感じております。今後も自分達の取組みが環境問題に繋がっていることを実感し地域に根差した企業を目指していきます。
見直し(変更の必要性と指示)	環境経営方針 変更の必要性	我が社の方針として、今後も継続していきます。変更の必要はなし
	環境経営目標 環境経営計画 変更の必要性	我が社の方針として、今後も継続していきます。変更の必要はなし
	実施体制 変更の必要性	我が社の方針として、今後も継続していきます。変更の必要はなし
	その他の環境システ ム要素 変更の必要性	我が社の方針として、今後も継続していきます。変更の必要はなし